令和6年度

吉野川市立川島中学校「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

- ||〇バランスの取れた「確かな学力」の育成
- ・基礎基本の徹底と「できた」「わかった」が飛び交う授業づくり
- ■・思考の過程を大切にした学びの場の設定
- ・自主的に目標を掲げた家庭学習の定着

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 委員

元木紀美子(校長)筒井紀臣(教頭)入交理子(人権教育主事・特別支援コーディネーター)吉野健太郎(1年主任)糸谷 祐子(2年主任)山野井貴子(教務主任)高橋周(生徒指導 ナ東)

校長

元木 紀美子

【各校の取組状況の把握について】

吉野 健太郎

①管理職・教職員による授業参観など学びの場の設置 ②授業後における生徒の振り返り ③「めあて」「振り返り」等の明確化

◎次の(1)~(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得 児童生徒の状況(○よさ・●課題) 具体的目標(目指す子供の姿) 具体的方策(教員の取組) 中間期の見直し 達成状況(評価) 次年度における改善事項 ○基礎的・基本的な知識・技能が身についてい 教員が相互に授業参観を行う。 ・学習の過程を通して習得した知識を既 学校評価アンケートで「学校では集中 ・学んだ知識を活用する場面を設定し生徒が興 たり、与えられた課題にも真面目に取り組めたり ・基礎基本の知識が定着するような効 習の知識と関連づけて他の学習の場面味をもって学習に取り組めるよう工夫した授業を |してまじめに勉強できている」肯定群| できる生徒が多い。 果的な手立てを考える。 〇小テストに意欲的に取り組む生徒が多い。 で活用することができる。 |85%.「毎日かかさず家でも勉強してい ・学んだことを活用する場面を設定した 〇真面目に授業に参加する。 自主勉強ノートの効果的な使い方を指導した 身につけた技能を他の学習や生活の |る」肯定群64%共に昨年度より上昇し 授業を計画的に行う。 ●身につけた知識を関連づけたり活用したりする り、各教科のプリントを用いたりするなど、基礎学 場面において活用することができる。 振り返りを効果的に行い、知識の定着 ことに課題がある。 力の向上につながるような課題の出し方を工夫 ・家庭で自主的に継続的に学習に取り ・ICTやタブレットPCを活用した授業を ●知識・技能を得るよりも、課題をこなすことを優 する。 度合いを確認し,個別の指導を心がけ 組むことができる。 |行い、生徒の興味・関心を高めることが ・「めあて」「振り返り」等を明確化し.授業への取り 先している。 ・基礎的な知識が定着している。 できた。 組み方を子供たちが理解できるようにする。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成 児童生徒の状況(○よさ・●課題) 中間期の見直し 達成状況(評価) | 具体的目標(目指す子供の姿) 具体的方策(教員の取組) 次年度における改善事項 〇自分の考えを発表したり、友達の意見をしっか ・1 授業や行事などの発言の場面で,目分の 各授業における課題等に対して話し合い ペアやグループでの学習を効果的に活用 ・お互いの意見を的確に伝えることがで |考えがうまく伝わるようにしている」の肯定 り聞いたりすることができる生徒が多い。 ノ, お互いの意見を伝え合う場面を設定す 活動等を通して解決する方法を考えること きるように,発表などの場面を多く設定 〇基本的な発言の仕方や、積極的に発言しよう 群が60%と昨年度よりも上昇するなど,自分 ができる。 する。個人のめあてを明確にし,達成レ とする態度が身についている。 の考えを表現することに対して,創意工夫が ·習得,活用,探究の各場面において適切な|・ICTを効果的に活用した発表や話し合い活 ベルを上げていく。 ●複数の考えから新しい考えを創造したりするこ 見られた。 言語活動により表現することができる。 動をさせる。 ・学習課題を工夫し、子供たち自身で考 とに課題がある。 ・「できるだけ本や新聞を読むようにしてい ・自分の考えを自分の言葉で具体的にわか 別の言葉に言いかえる、関連づける、そう ┃●「より伝わる表現」を工夫する必要がある。 え、表現したことを適切に評価し、授業改 る」肯定群が33%であり、紙媒体からの情報 りやすく伝えることができる。 考えた根拠と理由を引き出す発問を行う。 善に努める。 を正しく読み取る機会が不足している。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成	t				
児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
●分からないことを質問するなど学力向上に対	とができる。 ・自らの課題を解決できるよう計画を立て実践することができる。 ・苦手なことにも積極的に挑戦し続けることができる	より、技术のののでを使ぶする。 ・スモールステップでできていることを褒める。		ピューターやタブレットPCを使うのは勉強の 役に立つ」肯定群が84%だったことから、タ ブレットPCを使用する機会が増え、学習意 欲が高まったといえる。	るようになるための手立てを考える。 ・振り返りを効果的に行い,自身の成長を感 じ,意欲的に取り組めるように授業計画を立

令和6年度 学力向上ロードマップ

